

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議の開催について

令和元年9月6日
初等中等教育局長決定

1. 趣旨

少子高齢化の一方で、医療の進歩・特別支援教育への理解の広がり・障害の概念の変化や多様化など、特別支援教育をめぐる社会や環境の変化に伴い、特別支援教育を必要とする子供たちの数は増加の一途をたどっている。

こうした状況のもと、特別な配慮を要する子供たちがその可能性を最大限に伸ばすとともに、自立と社会参加に必要な力を培うための適切な指導・必要な支援の重要性がますます高まっている。

これらのことを踏まえ、医療や福祉との連携の推進、障害者の権利に係る国際的な議論の動向等も踏まえつつ、特別支援教育の現状と課題を整理し、一人一人のニーズに対応した新しい時代の特別支援教育の在り方や、その充実のための方策等について検討を行うため、有識者会議を設置する。

2. 検討事項

- (1) 特別な配慮を必要とする子供たちに対する指導及び支援の在り方
- (2) 医療や福祉と連携した特別支援教育の推進方策
- (3) その他

3. 実施方法

- (1) 別紙の構成員において、「2. 検討事項」に掲げる事項について検討を行う。
- (2) 必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができる。

4. 期間

令和元年9月6日から令和3年3月31日までとし、その後については必要に応じ延長することとする。

5. その他

- (1) この会議に関する庶務は、初等中等教育局特別支援教育課において行う。
- (2) その他会議の運営に関する事項は、必要に応じ会議に諮って定める。

(別紙)

新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 委員名簿

【委員】

| | | |
|-----|-----|--|
| 朝日 | 滋也 | 全国特別支援学校長会長、東京都立大塚ろう学校統括校長 |
| 阿部 | 一彦 | 日本障害フォーラム代表 |
| 石橋 | 恵二 | 学校法人武蔵野東学園武蔵野東中学校長、 武蔵野東小学校中学校統括校長 |
| 市川 | 宏伸 | 一般社団法人日本発達障害ネットワーク理事長 |
| 市川 | 裕二 | 東京都立あきる野学園校長 (R2.4.1~) |
| 一木 | 薫 | 福岡教育大学教授 |
| 大出 | 浩司 | 学校法人大出学園理事長・若葉高等学園校長 |
| ○岡田 | 哲也 | 二松學舎大学教授 |
| 川高 | 寿賀子 | 京都府立宇治支援学校長 (~R2.3.31) |
| 片岡 | 聡一 | 岡山県総社市長 |
| 金森 | 克浩 | 日本福祉大学スポーツ科学部教授 |
| 菊池 | 桃子 | 女優・戸板女子短期大学客員教授 |
| 北村 | 宏美 | 香川県教育委員会事務局特別支援教育課長 (R2.4.1~) |
| 木村 | 浩紀 | 北海道札幌視覚支援学校長 |
| 熊谷 | 晋一郎 | 東京大学先端科学技術研究センター准教授 |
| 滝口 | 圭子 | 金沢大学学校教育系教授 |
| 竹中 | ナミ | 社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 |
| 田村 | 康二郎 | 東京都立光明学園統括校長 |
| 成澤 | 俊輔 | NPO 法人カシオペア理事、株式会社 YOUTURN 取締役 |
| 野口 | 晃菜 | 株式会社 LITALICO 執行役員・LITALICO 研究所長 |
| 日詰 | 正文 | 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園研究部長 |
| 廣瀬 | 尚子 | 香川県教育委員会事務局特別支援教育課長 (~R2.3.31) |
| 佛坂 | 美菜子 | パーソルチャレンジ株式会社ゼネラルマネージャー |
| 松倉 | 雪美 | 富山県立ふるさと支援学校長 |
| 真砂 | 靖 | 弁護士 |
| ◎宮崎 | 英憲 | 全国特別支援教育推進連盟理事長、東洋大学名誉教授 |
| 山口 | 正樹 | 神奈川県立上溝高等学校長 |
| 山中 | ともえ | 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会会長、 東京都調布市立飛田給小学校長 |
| 吉藤 | 健太郎 | 株式会社オリィ研究所代表取締役所長・ロボットコミュニケーター (計27名、五十音順、敬称略) (◎：主査、○：主査代理) |

【オブザーバー】

| | | |
|----|----|---|
| 梅澤 | 敦 | 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所理事 |
| 西牧 | 謙吾 | 国立障害者リハビリテーションセンター病院長、 発達障害情報・支援センター長 |
| 本後 | 健 | 厚生労働省社会・援護局障害福祉課障害児・発達障害者支援室長 (計3名、五十音順、敬称略) |